



NPO法人「にっぽん文明研究所」が後援する講演会のお知らせです。医師の矢作先生は、生と死が行き交う医療現場で理解を超える現象や不思議な体験をされ、眼に見える現界と目に見えない他界とが共存する世界を実感されました。そして人が役目を果たす時間でもある寿命とは、“この世で魂を磨く期間”とも謂われます。この『魂』の基層には、縄文時代から続く長い年月、大自然と神と共に生きて来て培われた精神性・霊性が在ります。先人たちが育んで来た歴史には、独自の精神文化に基づいた愛や調和や寛容さが観られます。世界が注目する日本人の作法や知恵には、独特の感性や感受性に拠っています。先生はご著書『天皇』で、「日本は陛下の無私の祈りに何度も救われた」と記されています。清き明き“和の心”で国造りを為した日本人の霊性が失われていると思えるいま、先生には古来の霊性の高い在るべき我が国のかたちをお話して頂きます。(奈良 泰秀)

◆「我が国のかたち」◆



講師：矢作 直樹 氏 (医師・東京大学名誉教授)

(やはぎ なおき) 昭和 31 年、神奈川県生まれ。金沢大学医学部卒業後、麻酔・救急・集中医療、内科、手術部業務などに従事。併せて医療機器開発も行う。平成5年、医学博士号取得。平成11年、東京大学大学院新領域創成科学研究科教授、工学部精密機械工学科教授、13年、同医学部教授、同付属病院救急部・集中治療部長就任。28年退官、同名誉教授。著書：『人は死なない』(バジロ)、『天皇』(扶桑社)、『魂と肉体のゆくえ』(さざな出版)、『悩まない』(ダイヤモンド社)、『変わる』(同)、『日本人のお役目』(ワニブックス)、『ご縁とお役目』(同)、『おかげさまで生きる』(幻冬舎)、『人生は、約束』(光文社)、『生き惑うひとへ』(河出書房新社)。など多数。

- 日時：平成29年 4月6日(木) 1:30p.m~4:00p.m (1:00p.m 開場)
- 会場：アルカディア市ヶ谷 私学会館 *会場室名は当日案内板でご確認ください。
(〒102-0073 東京都千代田区九段北 4-2-25 : TEL 03-3261-9921 下記案内図)
- 入場料：¥1,000円 (*ご参加を下記の Fax・メール・電話でご連絡ください)

Fax送信用：◎ 参加申込み (NPO法人「にっぽん文明研究所」)【締切り=4月3日(月)】

Fax：送信先 045-491-7461 e-mail：info@nippon-bunmei.jp Tel：045-481-9361

(ふりがな)
ご芳名 (歳)

ご住所

お電話

(お差支えなければ)

ご職業

会場地図⇒



*入場料：当日お支払いです。ご予約後のキャンセルはご遠慮ください。

【アルカディア市ヶ谷 アクセス】 JR 中央線(各駅停車)、地下鉄有楽町線・南北線、都営地下鉄新宿線 各市ヶ谷駅下車徒歩2分